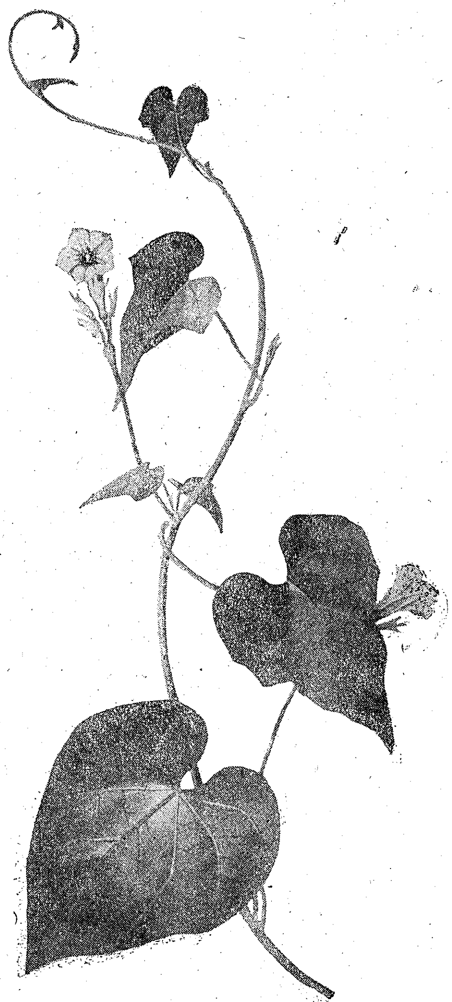


F 圖 Flora de Filipinas 第三版ヨリ(縮圖)

以上命名上ノ問題ニ關スルモノノ他ノ大ナル部分ハ我ガ師ナル渡邊淸彥博士ノデータニヨツタモノデアル。圖ハFヲ除イテハ全部同博士ノ勞作ニナルモノデアル。本篇ハ博士ト共著トシテヨリ精細ナ硏究ヲナス豫定デアツタ所、博士ハ既ニ南方ノ第一線ニ出向カレテキル故、取敢ヘズココニ短文トシテ發表シタ(參照シタ論文ハ他ニ ROBINSON, *Ipomoea triloba*. in Philippines. Torreya, **7**, p. 78–80. MERRILL, Enum. Philip. Flow. Pl. **3**, p. 368. 尙 KING et GAMBLE, Material. Fl. Malay Peninsula Gamop. p. 527, GAGNEPAIN et COURCHET, Flore Général de l'Indo-Chine, **4**, p. 260 等ノ synonymy ニ對シテハスコブル疑問ガアルコトヲ附記スル。最近出版サレタ二三ノ海南島ノ植物目錄中ニアル *I. sagittaefolia* BURM. fil. ハ *I. sepiaria* ソノモノデアラウ)。

○「廣大和本草」及「豆腐百珍」ノ著者ニ就テ　(津山 尙)

直海龍ノ廣大和本草ニ就テハ既ニ矢野宗幹氏ガ「大和本草ノ考註書」(本草學第1號)ニ於テ“私は殊更に之を除外した。其は大和本草の考註をしたものではないと考へるからである。”ト述ベテ居ラレル。又白井光太郎先生ハ博物年表中ニ於テ“此書の如きは名を大和本草の增訂に假ると雖も、實は荒誕無稽の臆說を妄作したるものにして漢名・和名・引用書目等は、大低僞作にして、眞に其實あるに非ず故に學術上には毫も參考の價値なきものにして、天下後世を過まるの罪小少に非ず”トキメツケラレテキル。シカシコノ書ノ出版事情ニ關シテ次ノ樣ナ事情ガアツタコトガ判レバ成程トウナヅカレルノデアル。即チ森銑三氏ハ圖書館硏究第十號ニ於テ杉野恒ノ稿本「典籍作者便覽」ヲ紹介シ、ソノ中デ次ノ樣ニ述ベテ居ラレル。“本草家直海龍は、評判のよくな

い學者であり、その廣大和本草は評判のよくない書物であるが、同書についてはつぎのやうな事實が記してある。「この書について奇談あり。もと書林よりのあつらへものなるを打捨おける折しも、わが女の緣談極まり、明日いづれ金子入用のことある故、願主の書林へ行、金子借用のこと賴みければ、書林いはく、あつらへの品出來にて御持參ならば御用立べし。左なくて叶ひがたしと云。よつてその夜一夜の中に全部書立、明日持行、金子うけとりしと云。その秀才知べし。たとへ杜撰なりとも、かく大業の物を一夜の中に卒業なしつること恐るべしと云。」" 尙杉野氏ノ稿本ニヨツテ例ノ百珍本ノ一デアル豆腐百珍、及同後篇ノ著者ハ曾谷學川ナル篆刻家デアツタコトガ判ツタ由デアル。學川ハ便覽ニヨルト「性溫順謙遜にしてよく人と相和す。頗る酒をたのしみ、醉ば則新聲を發す。豆腐を好みて工みに煮分くるを樂みとす。其雅趣いふべからず」ト言フ。

○はすのはぎり屬ノ葉ニ就テ (津山 尙)

はすのはぎり屬 (*Hernandia*) ハ典型的ノ全緣葉ヲ有スルト信ジラレテキルガソレハ本來ハ掌狀裂葉ノモノデアルラシイ。だんかうばいヤしろもじニ全緣葉ノモノカラ三裂葉ノモノマデガアルコトハ既ニ久内淸孝氏ガ本誌 3 卷 267-269 頁ニ報告サレタ通リデアル。前者ニハ時ニ五裂葉サヘ生ズルコトガアル。はすのはぎりニ於ケル例モコレニ多少似タ場合デアルト考ヘラレル。ニューギニアノ鳥頭半島ノプラフィ川地方ノ降雨林中デ採集シタ同屬ノ標本 (Aff. *Hernandia ovigera*) ハ 3—5 裂スル葉ヲ有シテキル。尤モコレハ幼樹ニ限ル樣デアル。同地方ノ別ノ部分デモ亦同樣ノ標本ヲ得タカラ、コレハ畸型的ノモノドハ考ヘラレナイ。一般ニ老樹ノモノ程葉ノ裂片ヤ鋸齒ガ不明瞭ニナツテ來ル事實ハ多クノ植物デ見ラレル通リデアル。例ヘバ *Gilibertia* デハ三出葉ガ全緣ニナルシ、*Ginkgo* ヤ *Bauchinia* デモ亦不明瞭ニナル。もちのき、さかき、やまもがし、やまももノ葉ハ全緣ガ普通デアルガ、切株カラノ枝ヤ發育不良ノモノハ鋸齒ガアリ、ひひらぎ、りんぼくノ老樹ノモノハ全緣デアル。コレカラ見ルトだんかうばい、しろもじハ多少異ツタ範疇ニ屬スル。又 *Tilia*, *Pterocarya* 等ノ子葉ニ深イ裂片ガアルノニ普通葉ニソレガナイノモ少シ異ツタ例デアル。

○たこのきノ名ノ起リ (津山 尙)

大東亞戰爭ガ初マツテ以來南方植物ニ對スル一般ノ關心ガトミニ高マツタ。ソノ中デモたこのきト言フ名ハ非常ニ一般化シテ新聞ノ現地報告ヤ隨筆ヤ時ニハ小說ノ中ニサヘ出テクル樣ニナツタ。勿論正シクハたこのきハ小笠原島特產ノ *Pandanus boninensis* WARBURG ニ限ルノデコノコトハ植物學ヲヤル人達ナラ先刻承知シテキルコトデアル。ソレ故南方ノソレハ廣クたこのき屬ヲ指シテキル譯デアル。コノたこのきハ何時誰ニヨツテ名付ケラレタノデアラウカ。*Pandanus* 屬ニ對シテハコレヨリ古ク有名ナ和名ハ多クアツタ筈デアル。日本人ニハ既ニ琉球ノ *Pandanus tectorius* SOLANDER ガ知ラレ、阿咀呢 (アタニ、アダン) 榮蘭 (エラン) ナドノ名デ人口ニ膾炙シテキタノデアル。阿部櫟齋ノ草木